第200号
昭和41年12月1日

昭和29年10月15日
第3種郵便物認可

毎月1日発行
定価1部3円

12月の広報ごよみ
◇歳末助け合い運動
◇火災に注意
◇インフルエンザの予防
◇年末の郵便物は早めに

広報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市城内3番22号
編集兼発行人
藤岡照正
株式会社文進堂印刷
全世帯配布

小田原市の推計人口
11月1日現在

人口	146,451人
男	72,467人
女	73,984人
世帯	34,628世帯
前月の比較 人口	293人増
男	221人増
女	72人増
世帯	81世帯増

少しぐらいが命取り
酒飲み運転は事故のもと

年末から年始にかけ、きまつて多くなるのが、酒飲み運転による交通事故です。「酒を飲んだらハンドルをにぎらない」「運転する人には、酒を飲ませない」このわかりきつたことが、残念なことに守られないばかりに、悲惨な事故が繰り返されていることは、ほんとうに悲しいことです。

ことしの一月から八月までに県下で発生した酒飲み運転による事故は、一千二百四十八件で県下で発生した全交通事故の六パーセントにあたつていますが、この酒飲み運転による事故は、ほかの交通事故にくらべると死亡したり、けがをしたりする率が非常に高くなつています。

年ごとに自動車は、ふえてきており、今では社会生活に欠かすことのできない必需品ですが、これを運転されるドライバーのみなさんのなかには、「ちよつと一杯」「少しぐらい」「自分にかぎつてだいじようぶ」などといつて飲んだ酒がもとで、かけがえのない自分の命をおとしたり、他人のしあわせをこわしたりして家族までもみじめなものにしています。

どうか、車を運転するかたはもちろんこれを取りまく回りの人々みんなが、次のことを注意しあつて、こうした酒飲み運転による交通事故をなくすようにしようではありませんか。

車を運転されるかたに

酒飲み運転による交通違反、交通事故は、法律できびしく処罰されます。そのうえ免許証の取り消し、停止といつたきつい処分も受けます。ですから運転されるかたは、

一、酒を飲んだら絶対にハンドルをにぎらない
二、酒を飲む席へは車でいかない
三、車を運転するときは酒を口にしない

一般のかたへ

回りの人が、車を運転する人に酒をすすめ、事故を起こさせた例がたくさんあります。それが好意からであつても結果的には好意からではなくなります。回りの人は

一、車を運転する人へは、どんなときでも絶対に酒をすすめない
二、酒を飲んでいる人には、運転させない
三、酒を飲んでいる人が運転する車には乗らない
四、運転者へは、義理や好意でも酒はすすめない

小田原警察署

本市が県知事表彰
個人県民税徴収成績優良都市として

さる十一月八日神奈川県庁において、昭和四十一年度県民税納税奨励表彰式が税務関係者多数列席のもとに盛大に行なわれました。当日個人県民税徴収成績優良市町村として、県下四市十町の地方団体が県知事のはえある表彰を受けましたが、本市も優良市として選ばれ石井収入役がこれに出席いたしました。

本市は、これで昭和三十二年以降毎年優良市として選ばれ、今回で九度目の受賞であります。

これは、ひとえに市民の皆さんをはじめ、特別徴収義務者、納税貯蓄組合あるいはその連合会の方々の熱心なご協力のお陰によるもので、厚くお礼申しあげるとともに、今後なお一層のご協力をお願いいたします。

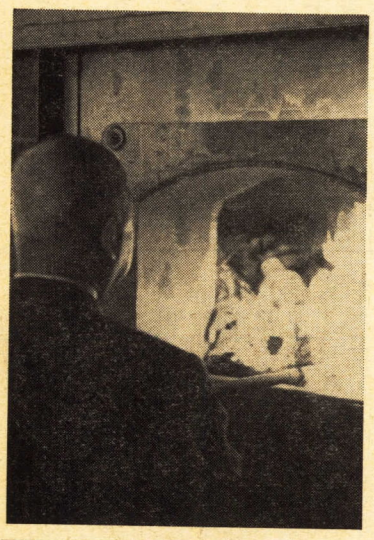
なお、この個人県民税は、賦課徴収の便宜をはかるため、個人市民税の賦課徴収と合わせて行なわれるもので、その事務が市に委任され一般に市県民税または住民税と呼ばれております。

市では、この個人県民税が市の金庫に納付されたときは、市民税と県民税をそれぞれ別表のあん分率によつてあん分して翌月の十日までに県民税を県へ払い込むことになつております。

昭和40年度個人市県民税

区分	調定額	あん分率	徴収成績
個人県民税	円 249,817,170	0.3832	% 99.30
個人市民税	401,959,540	0.6168	99.30
合計	651,776,710		99.30

府川じんかい焼却場一部完成
11月10日に火入れ式を挙行



かねてから市内府川地内で建設工事が進められておりましたじんかい焼却場が、このたび一部完成しましたので、この火入れ式が、さる十一月十日、市長をはじめ市関係者及びこの工事を請負つた建設業者などにより行なわれました。

この焼却場は、市が昭和四十年度から工期二か年、総工費一億一千七百八十七万円をかけて建設していたもので、このたび完成しましたのは、本体工事としての炉体を含む施設で、これを除く搬出入道路、従業員詰所等は、年内に完成する予定になつております。

これにより、高速たい肥化処理場、中町じんかい焼却場と合わせて、市内収集区域のごみは、完全処理ができることになつたわけです。

【写真は炉に火を入れる市長】

人命救助の高井さんらに感謝状

さる十月二十九日、海水浴場における人命救助協力者の高井一道さん（国府津二、〇六五番地）、勝俣智夫さん（浜町一丁目六番十六号）、山口条平さん（本町一丁目十三番十五号）、井上雍生さん（早川二〇七番地）の四人のかたに市長から感謝状と記念品が贈られました。

高井さんらは、さる八月七日、台風十号の影響で遊泳禁止になつていたみゆきの浜海岸で、関係者の制止も聞かずに泳いでいて高波のためおぼれかかつていた人を発見し、身の危険もかえりみず、ただちに海中に飛び込み、協力して沖合いの漁業用浮標（ブイ）に誘導し、要請によつて早川漁港から出動した長谷川丸（谷川与之助氏所有）に引き上げ無事救助したものです。

新庁舎へ一部移転
消防本部の事務課など

かねてより、建築中の消防新庁舎（鉄筋コンクリート造り、地上三階地下一階）は、完成をまじかにひかえ、着々と工事が進められておりますが、このたび、その一部が完成し、一階事務室へ消防本部事務課、消防課及び消防署指導係が移転し、事務を開始しました。またこの移転に伴つて十二月一日から代表電話番号が㉓二二五一番となりましたのでお知らせいたします。

なお、新庁舎の完成は、十二月中旬の予定でありますが、当事務室へご来訪のときは、旧庁舎の取りこわし工事などが行なわれていますので、ご迷惑をおかけいたすことと思いますが、ご協力をお願いいたします。

年末事業資金を融資
中小企業を対象に

県および市では、ただいま次の要領によつて中小企業者を対象に年末事業資金の貸し付けをしております。

年末にあたつて事業資金が必要なかたは、この制度をご利用ください。

◇融資総額　六十七億五千万円（市預託分一億五千万円、県預託分六十六億円）
◇資金の用途　年末事業資金に限ります
◇貸し付け利率　市預託分　日歩二銭三厘以内、県預託分　金融機関で定める率
◇取り扱い期間　十月一日から十二月三十一日まで
◇返済期限　明年三月三十一日まで（県預託分については六カ月以内）
◇融資条件　市預託分については一企業百万円以内（特別な場合は三百万円以内）、保証人一名以上のほか、必要に応じて担保をとります。また県預託分については、一企業三百万円以内（組合一千万円以内　組合転貸二千万円以内）とし、信用保証を必要に応じてつけていただきます。
◇取り扱い金融機関　市預託分は小田原信用金庫、県預託分は横浜銀行、駿河銀行、各相互銀行第一信用組合、商工中金が取り扱つております。
◇申し込み方法　取り扱い金融機関の窓口で受け付けておりますので、係員にご相談ください。

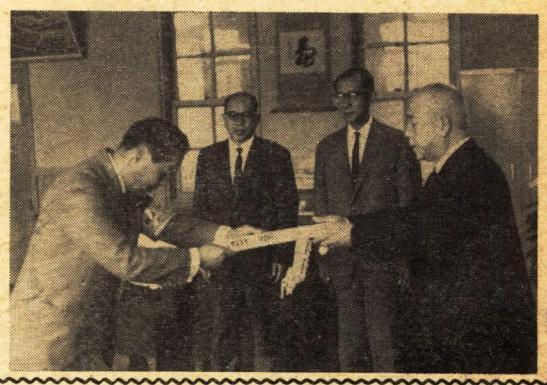
市税の年末滞納整理にご協力を

本市の納税成績は、日ごろから市民の皆さんの深いご理解と納税貯蓄組合等の熱心なご尽力により毎年好成績をあげてまいりました。これによつて市では公共施設の整備等に大きな成果をあげることができました。

そこで、本年もさらに住みよい町の建設促進のため、さる十月六日から十二月二十六日までを市税年末滞納整理期間として、滞納税金の整理に当たつております。

なにかのご都合で未納となつている税金は、ぜひこの期間中にお納めくださいますようご協力をお願いいたします。

○○本市に防犯灯40基○○
東京電力小田原営業所が寄贈



さる十一月十四日、東京電力小田原営業所から本市に防犯灯四十基と電球五十個が寄贈されました。

今回の寄贈は、同営業所が秋のサービス週間行事のひとつとして夜間の犯罪を防止するため行なわれたものです。

これで昭和三十七年以来東京電力から本市に寄贈された防犯灯は三百八十六基となりますが市では年末をむかえ犯罪の発生が予想されるときでもありますので、早速自治会を通じて危険度の高いところへ配分し、東京電力のご厚志に報いることにしました。

なお、市がことしの四月から現在までに各自治会等へ配分した防犯灯は、今回の寄贈分を合わせて二百三十基（自治会等からの申し込み数二百七十四基）で、その内訳は市の補助によるもの八十基、県の補助によるもの四十基、防犯協会小田原支部の補助によるもの三十基、東京電力から寄贈されたもの八十基となつております。

【写真は東電小田原営業所長から目録をうける鈴木市長】

十二月二十日は市制施行記念日

十二月二十日は、小田原市が昭和十五年に市制を施行してから二十六周年の記念日にあたりますので、市民のみなさんも国旗をかかげて、この日をともにお祝いください。

市役所は、この日に休みとなりますが、窓口関係の事務については、平常どおり行ないます。

◆年末たすけあい運動
困っている人に暖かい手を

期間　12月1日～31日

小田原市社会福祉協議会
神奈川県共同募金会小田原市支会

みんなで町を美しく

毎月1日は美化の日

◎花や木できれいな美しい環境をつくりましょう。
◎公園、遊園地のクズ入れやベンチなどを大切にしましょう。
◎紙クズやタバコの吸いガラはきめられた場所に捨てましょう。
◎暮の大そうじには平素手のとどかないところもきれいにしましょう。

小田原市美化運動実施本部

工業統計ほか二つの調査

年末から年始にかけて実施

毎年十二月末日現在で、通商産業省の工業統計調査が実施されておりますが、市民のみなさんのご協力により、毎回よい結果を得ております。

本年もまた昭和四十一年度の調査が始められますが、今回は付帯調査として県の輸出生産統計調査のほかに、通産省の第三回中小企業総合基本調査が行なわれます。

わが国では中小企業の占める地位は高く、中小企業の発展なくしてはわが国経済の健全な成長は考えられません。

これら三つの調査は、統計法にもとづく指定統計と、本県の統計調査条例によって行なわれます。

したがって皆様から提出された調査票は厳重に保管され、統計法等によってその秘密は堅く守られ、徴税など直接申告者に不利益を生ずるような目的にはいっさい使用されません。皆様の正確な申告によって得られた統計資料は、行政施策の基礎資料となるばかりでなく、企業経営の合理化、近代化はもちろん輸出の促進にも使われます。これらの調査は、年末から年始にかけて行なわれますが、その際には知事の任命した調査員が各事業所へお伺いして調査します。どうか調査の趣旨とその重要性をご理解いただき、進んでご協力くださいますようお願いいたします。

次に調査の大要を示しますと、

工業統計調査

毎年十二月末日現在で、物を製造して卸売する事業所、または材料を支給されて加工している事業所（船舶の修理所や印刷所（謄写印刷を除く）と本社、本店を含む）を調査の対象とします。おもな調査項目は、従業者数、現金給与額のほか原材料、燃料、電力等の使用額および委託生産費、製造品出荷額などです。

中小企業総合基本調査

この調査は、工業統計調査に該当した事業所のうち、通産省の抽出により指定された事業所（中小企業だけでなく大企業も含む百十三事業所）を対象とします。調査項目のおもなものは、工業統計調査と共通調査事項のほか、年間採用者数および年間退職者数、従業者の福利厚生状況、資金借入先および借入残高、特許権実用新案権および意匠の状況、外注の状況、機械装置の設備状況、取引の状況その他となっています。

輸出生産統計調査

この調査は、工業統計調査に該当した事業所のうち、輸出向製品を製造または加工している事業所について、輸出向製品の品名、出荷額、出荷先等を調査し、輸出貿易振興施策の基礎資料とするものです。

市役所の年末年始の休み

年末年始にあたって、市役所の一般執務および各出先機関の業務は、次のとおり休みとなります。

市役所

ことしの一般執務は、例年どおり十二月二十八日まで行ない、二十九日から明年一月三日まで休みます。

ただし、お急ぎのかたのご便宜をはかるため、二十九日と三十日には本庁や各支所で戸籍、住民登録、転入転出、印鑑証明などの窓口事務を午前八時三十分から午後五時まで行ないます。

市立病院

十二月二十日、二十九日、三十一日、一月一日、三日は、休診します。

十二月二十八日、三十日、一月二日、四日は、午前中診療しますが、午後からは休診します。

（眼科、耳鼻咽喉科のみ一月二日は休診）

なお、急患の場合は、休診中でも診療します。

水道部・下水道事務所

水道の漏水、故障などは、年末年始の休日中でも修理いたします。

ご連絡は水道部（電話㉓一八一～五番）へお願いします。

なお、川東地区については、酒匂支所（電話㊼二八一五・六番）へご連絡くだされば修理にうかがいます。

下水道の故障は、年末年始の休日中でも修理いたします。ご連絡は、下水道事務所（電話㉓一一八六・一一八七番）へお願いします。

なお、夜間（午後五時以後）は水道部へご連絡ください。

天守閣

例年どおり、十二月二十九日から三十一日まで休みますが、元日からは平常どおり入場できます。

公益質屋

例年どおり十二月三十一日まで業務を行ないますが、一月一日から三日までは休業します。

図書館・児童文化館

十二月二十六日定期休館日、二十七日月末館内整理日、二十八日から一月四日まで休館します。

市民会館

十二月二十八日から一月四日まで休館します。

中央公民館・体育館

十二月二十九日から一月三日まで休館します。

年末の出納業務は12月29日までです

市役所内指定金融機関派出所の年内出納業務は、年末非常にご多忙な市民のかたがたの便宜をはかるため、特に二十九日午後四時まで行ないます。

ご承知のように年末は、出納窓口がたいへん混雑しますのでご用のかたは、なるべくお早めにおいでください。

なお、督促手数料や延滞金のつかない市税等は、次の金融機関で十二月三十一日まで取り扱います。

市指定金融機関

◎小田原信用金庫本店、同緑町支店、同十字支店、同国府津支店、同鴨宮支店、同富水支店

市指定代理金融機関

◎横浜銀行小田原支店、同足柄支店、同国府津支店、同下曽我支店

◎駿河銀行小田原支店、同幸町支店、同国府津支店

収納代理金融機関

◎日本勧業銀行小田原支店

◎静岡銀行小田原支店、同小田原北支店

◎第一銀行小田原支店

◎協和銀行小田原支店

◎日本相互銀行小田原支店

◎静岡相互銀行小田原支店

◎東京相互銀行小田原支店

◎小田原市農業協同組合本店

同荻窪支店、同久野支店、同足柄支店、同山王一色支店、同富水支店、同桜井支店、同酒匂支店、同下府中支店、同豊川支店

同上府中支店、同田島支店、同下曽我支店、同曽我支店、同曽我支店分店

年末の郵便業務にご協力を

小田原郵便局からのお願い

年末の郵便業務をスムーズにはこぶため、郵便局ではいろいろの施設を拡充して万全を期しております。しかし年末は、膨大な郵便物が出回り十二月中旬以降は平常の五倍ぐらいの郵便物を取り扱うことになりますので、次のことについて利用者みなさまのご協力をお願いいたします。

◇差し出し日時、差し出し物数はあらかじめ郵便局へお知らせを。

はがきや印刷物を一度に大量にお出しになるときは、相当期間前に差し出し日時、郵便物の種類、物数をお知らせください。

◇郵便物は府県ごと、または市町村ごとに区分してお出しください。

郵便物を区分して差し出されますと郵便局の作業能率がよくなり大量に差し出されてもスムーズに処理され早く届くことになります。

◇年賀状は次のように別々にたばねてお出しください。

小田原市内あて

神奈川県下あて

東京都内あて

その他の府県あて（多いときは各府県別に）

◇あて名は都道府県名から正確に。

年賀郵便の区分は大部分アルバイトによって処理されますので都道府県名が書いてないと能率が低下するばかりでなく誤送の原因ともなります。六大都市（東京、大阪、京都、名古屋、神戸、横浜）以外は、必ず都道府県名を書いてください。

なお、何番地何々方まで必ず記入してください。団地あてには、むね、室番号を忘れずに書いてください。

◇新住居表示で記載してください。

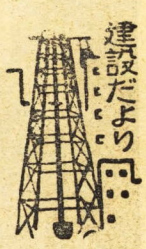
全国的に新住居表示制度が実施されていますので、差し出し人の住所ばかりでなく、受け取り人の住所もお確かめのうえ、必ず新しいあて名で書いてください。

◇郵便局の差し出しは早めに。

小包や印刷物は、十二月十五日ごろまでに、年賀状は、十二月十五日から二十二日ごろまでにお出しください。

小田原郵便局

建設だより



◇井細田中久野線舗装新設工事
＝井細田、久野地内＝
（工事概要）
アスファルト、コンクリート舗装　延長四百七十五・八㍍　幅員五～六㍍　面積二千三百五十七・六平方㍍
工事費三百七十万円（うち県補助金三分の一）
昭和四十二年二月四日完成の予定

◇中島台場線舗装新設工事
＝中町地内＝
（工事概要）
既設道路の幅員六・六㍍を八㍍から十一㍍に拡張　延長九十五㍍　アスファルト舗装面積二百一・二平方㍍　歩道平板ブロック工事五十・七平方㍍　歩道コンクリート工事三十二・三平方㍍　U型側溝工事八十八㍍　L型側溝工事八十二・七㍍　みぞぶた百七十六枚
工事費百十七万円
昭和四十二年一月十五日完成の予定

◇桜井小学校増築第一期工事
＝曽比一九四三番地＝
（工事概要）
建物、校舎増築、鉄筋コンクリート造二階建て一部塔屋付
延面積五百十二・七二平方㍍
工事費一千四百六十九万円　電気設備工事百十五万五千円（黒板は別途工事）
昭和四十二年二月二十八日完成の予定

◇下曽我小学校特別教室増築工事
＝曽我原三三三番地＝
（工事概要）
建物、特別教室増築、鉄筋コンクリート造二階建て
延面積五百三十一・五平方㍍
工事費一千三百八十五万円　電気設備工事五十七万円
昭和四十二年三月三十一日完成の予定

◇新設中学校新築第一期工事
＝飯田尚二二番地＝
（工事概要）
建物、校舎新築、鉄筋コンクリート造三階建て一部塔屋付
延面積一千四百三十・六平方㍍　工事費四千三百二十五万円　電気設備工事百九十六万五千円（黒板は別途工事）
昭和四十二年三月三十一日完成の予定

◇昭和四十一年度春木団地第一種簡易耐火構造二階建て住宅新築（第一工区）工事
＝鬼柳七八七番地＝
（工事概要）
建物、公営住宅新築、鉄筋コンクリート板二階建て組立式六むね　延面積一千二十五・七六平方㍍　（一戸面積四十二・七四平方㍍　二十四戸）
工事費二千六百万円（電気は別途工事）

◇昭和四十一年度春木団地第一種簡易耐火構造二階建て住宅新築（第二工区）工事
＝鬼柳七八七番地＝
（工事概要）
建物、公営住宅新築、鉄筋コンクリート版二階建て組立式三むね　延面積七百六十九・三二平方㍍　（一戸面積四十二・七四平方㍍　十八戸）
工事費二千二十八万円（電気は別途工事）
昭和四十二年三月三十一日完成の予定

◇昭和四十一年度春木団地第二種簡易耐火構造二階建て住宅新築（第三工区）工事
＝鬼柳七八七番地＝
（工事概要）
建物、公営住宅新築、鉄筋コンクリート版二階建て組立式三むね　延面積七百十二平方㍍（一戸面積三十九・五平方㍍　十八戸）
工事費一千七百十五万円（電気は別途工事）
昭和四十二年三月三十一日完成の予定

小口生活資金のご利用を

一世帯五千円まで

小田原市社会福祉協議会では、市から資金の助成を得て、市民の皆さんが小額のお金が急に必要になったときに利用していただくため、簡易小口生活資金の貸し付けを実施しております。借入れご希望のかたは、居住地を担当する民生委員又は各支所並びに市社会福祉協議会事務局に申し込み書がありますのでご利用ください。

貸し付け額は、一世帯五千円以内で借り入れの月から二カ月すえ置いて六カ月の月賦償還です。その他くわしいことは民生委員さん又は社会福祉協議会事務局にお尋ねください。

未納の方は12月28日までに

41年度下水道受益者負担金の滞納整理を実施

下水道事業受益者負担金の第一期、第二期分の納入につきまして、負担区域のみなさんの深いご理解とご協力により、収納率も好成績を収めることができました。

お陰さまで下水道事業も日々進ちょくしております。

つきましては市の下水道課ではさらに事業の推進をはかるため、ただ今十二月二十八日までの期限で本年度受益者負担金の第一期、第二期分にかかる未納金の滞納整理を行なっております。

なにかのご都合で受益者負担金を滞納されているかたは、ぜひこの期間中に納付くだされ、事業の遂行に一段のご協力をお願いいたします。

心配ごと相談

12月
6　13　20　27日
午前9時～午後3時
市立青少年補導所

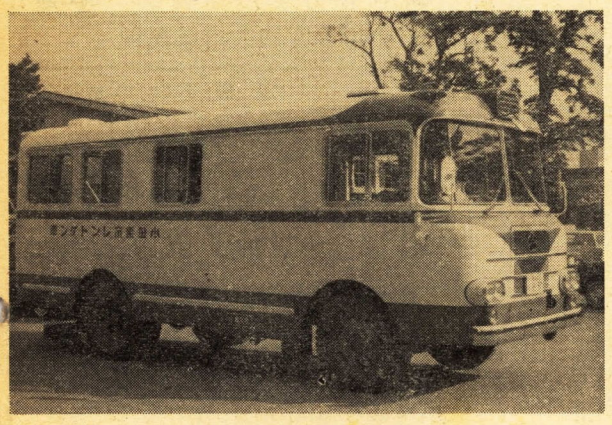
投書への回答

～市立病院から～

「子どもができたとわかつて申し込んでももう満員。しかも市外利用者が意外に多い。もつと市民が利用できる対策はないか。」との投書によるご意見ですが、現状においてはご指摘のとおりで、ご要望に応じられないのは残念です。この解決は産婦人科のベッドを増設すること以外にありません。

医師、看護婦の補充が非常にむずかしい事情にありますが、関係者と十分協議しできる限り、早くベッドを増設しご要望にお答えしたいと思います。

なお、市外利用者についてのご意見ですが、市立病院は西湘地方の基幹病院として建設された病院であり、できるだけ市民の方の入院には配慮しておりますが「医療」ということで、市外のかたの診療をしないということはできません。ただ市外利用者の助産料は、市内のかたに比べ、二割加算されておりますことを申し添えます。



新鋭レントゲン車を購入

≪健康管理に大きな力≫

市では、このほど国と県の補助をうけて、新鋭のレントゲン車を六百五十三万五千円で購入しました。

この車には、七十ミリミラーカメラが付いており、従来のレントゲン車の撮影フイルムより四倍も大きく撮影できますので、精密な診断ができるとともに結核、ろく膜炎はもちろん、心臓病、肺ガン、気管支炎等も非常に発見しやすくなりました。

これが、今後市民のみなさまの健康管理に大いに活用されるわけですが、みなさまも市が年一回行なっております結核の定期健康診断をお受けくださるようお願いいたします。

百貨店の売場内
映画館の客席内では禁煙です。

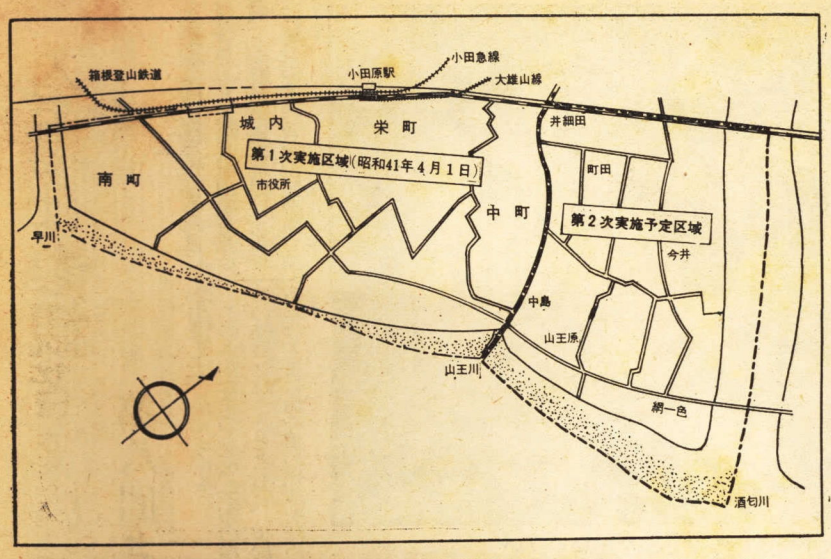
たばこは喫煙所で

火事と救急は……119

小田原市消防本部

これだけは知っておきたい

住居表示制度と実施後の問題



第一次実施区域及び第二次実施予定区域図

市では、ことしの四月一日に国鉄東海道線以南、早川の河川から東側及び山王川以西の中心街で第一次の住居表示制度を実施しましたが、市内にはまだ入りくんだ番地や飛び地があつてみなさん不便を感じておられることと思います。このため、第一次の実施に続いて国鉄東海道線の南側で山王川以東、酒匂川以西の町田、中島、山王原、網一色の全域及び井細田、今井の一部を第二次整備地域として街区方式により住居表示制度を実施するよう目下準備を進めております。そこで今回は、この第二次実施にさきだち、ご参考までに第一次実施のとき該当地域のみなさんからこの制度について寄せられたおもな質問、あるいは担当係員が業務進ちよくの段階で、これだけはみなさんにぜひ知つておいていただきたいと痛感したことなどを質疑の形式でまとめてみました。

こんな点が聞きたい

問　どうしたら、住所がわかりやすくなるだろうか。

答　私たちの生活は、すべて住所と結びついて、いとなまれております。

学校に入学するにも、人を尋ねるのもすべて住所が必要とされます。

このように近代生活に欠くことのできない「住所の表わし方」に明治以来の「番地」をそのまま使つております。

△広さは、……まちまち！
△境は、……でこぼこ！
△番地は、……とびとび！

こんな状態になつてしまいます。

このように、わかりにくくなる原因は、住所を表わす方法に土地の符号である「番地」を使つているためで、すべての人にわかりやすくするためには、この「番地」とは別に、建物に新しく住居専用の番号を付け、この番号によつて住所を表わすことが一番適当だ、という結論になります。

◇　◇

問　新しい住居番号がきまると今までの「番地」はどうなりますか。

答　今まで皆さんが住所を表わすのに使つていた番地は、土地、家屋の登記と、戸籍の本籍の表示だけに使われることになります。

また新しい住居番号は住居専用ですから、住所と名の付くもののすべてに使われます。

したがつて、住民登録や会社の設立登記などは、新しい「番号」を用いることになります。

◇　◇

問　新しい住居表示が実施され町の境界が変わつたりしますが、自治会や学区が変更されるのではありませんか。

答　結論からお話ししますとそのようなご心配は、すこしもありません。

ご承知のように自治会は各地区の皆さんの自主的な集まりで作られるものであり、行政上の都合で組み替えられる性格のものではありません。

学区につきましても、児童数や校舎の収容能力、特に教育行政の立場からの配慮によつて考えられるのが正しく、住居表示整備事業とは切り離して考えるのが適当と思います。

◇　◇

問　新しい町名はどのようにして、きめられるのですか。

答　新しい町名をきめますには

一、当用漢字を用いる。
一、わかりやすく書きやすい。
一、他にまぎらわしい町名がない。

などのことを基準に、まず地区の皆さんに十分お考えいただいた町名案を集約いたします。

つぎにその町名案につき、住居表示審議会では、全体の立場から検討し、決定されることになります。

◇　◇

問　先日平塚市の知人から新しい住居表示実施の「はがき」が来ましたが、小田原市でも「はがき」や各表示板などの便宜がはかつてもらえるのですか。

答　住居表示の実施についての告示がされ、いよいよ実施段階になりますと町には案内板が立てられ電柱などには街区表示板、建物ごとには住居番号表示板が取付けられます。

また知人の方に住所変更をお知らせする「無料はがき」を準備いたす予定であります。

年末年始の行事

一、除夜の鐘＝十二月三十一日
鐘つき堂

一、初泳ぎ＝一月一日、日の出時刻　みゆきの浜

一、新年「書と生花展」＝一月一日～十五日　天守閣中四階

一、風船だより大会＝一月四日午前十一時　天守閣広場

婦人のバレーボール教室

富水の四会場で開設

市の教育委員会では、日ごろスポーツをする機会に恵まれない人々を対象にひとりでも多くのかたがたがスポーツに親しむことができるように、さきにスポーツ教室としてサツカー少年コースを設け実施しましたが、このほどはじめてのこころみとして富水地区でバレーボール婦人コースを開設しました。

これは主婦のかたがたのスポーツへの親しみと理解を深めると共に明るい健康的な家庭づくりをねらいとして婦人に適したバレーボールをとりいれることになつたものです。

すでに富水地区では、十一月十二日から十二月十一日までの予定で毎週土、日曜日に地域の主婦のかたがたが、穴部の小田原信用金庫運動場をはじめ、小西六バレーコート、蛍生会広場、富水小学校校庭などに集まり、小田原地区バレーボール協会員の指導を受けながら楽しいスポーツのひとときを過ごしておりますが、参加者から大変好評を博しております。

なお、サツカー少年コースは、十一月四日から毎週土、日曜日に白鴎、鴨宮の両中学校や小田原高校のグランドで、四十人の豆選手が集まり、熱心に小田原蹴球協会員の指導を受けておりましたが、さる二十九日終了しました。

恒例の市内1周駅伝

1月8日8区間38.6キロのコースで挙行

小田原市、市教育委員会、市地区体育振興会連絡協議会主催の第十八回小田原市一周駅伝競走大会は、市陸上競技協会主管のもとにきたる一月八日（日）午前九時、片浦農協江之浦支所前をスタート市役所ゴールの八区間、三十八・六㌔のコースで挙行されます。

この駅伝は、成人の日を記念して市内各地区対抗で行なわれますので、出場ご希望のかたは所属地区の体育振興会役員、または体育指導委員にご相談ください。

体育課では、市内二十二地区がこぞつて参加されるよう、地区関係役員のかたがたのご協力を特に望んでおります。

なお、走路区間および通過予定時刻は次のとおりです。

◇第1区（四・五㌔）
片浦農協江之浦支所前―根府川駅前―米神オレンジセンター前（午前9時13分ごろ通過）

◇第2区（三㌔）
米神オレンジセンター前―石橋―早川橋手前農協前（午前9時23分ごろ通過）

◇第3区（三㌔）
早川橋手前農協前―早川橋先右折―奈良屋旅館前右折―西海子通り―茶畑通り―代官町通り―千度小路通り―魚市場前十字路左折―高梨町―新宿交差点―新玉小学校正門前（午前9時32分ごろ通過）

◇第4区（四・六㌔）
新玉小学校正門前―カネボウハリス前―井細田湯浅電池横T字路―飯泉橋―上新田―小田原信用金庫鴨宮支店前（午前9時46分ごろ通過）

◇第5区（六・五㌔）
小田原信用金庫鴨宮支店前―大同毛織―中里右折点―国府津T字路―下曽我駅入口（午前10時6分ごろ通過）

◇第6区（七㌔）
下曽我駅入口―曽我支所―下大井T字路右折―大井町上大井左折点―報徳橋―栢山駅前左折点―尊徳記念館前―小田原信用金庫富水支店前（午前10時27分ごろ通過）

◇第7区（四・二㌔）
小田原信用金庫富水支店前―蛍田駅前―多古T字路左折点（五百羅漢手前）―白山中入口右折点―大雄山線踏切―足柄駅小田急線踏切―久野坂下十字路（午前10時40分ごろ通過）

◇第8区（五・八㌔）
久野坂下十字路―専売公社裏―久野北久保入口左折―八百竹右折点―久野小前左折―川端―市立病院前―荻窪―谷津―青橋交番前―競輪場入口左折―藤だな―本町小角左折―市役所（午前10時58分ごろゴールイン）

優良産業勤労者を表彰

市では、十一月二十三日の勤労感謝の日に午前十時から市議会議場において優良産業勤労者の表彰式を行ないました。

当日は永年にわたり商工業、農業、水産業に従事してりつぱな勤労成績をあげ、産業の発展のために尽力された三十四名のかたがたに鈴木市長から表彰状と記念品が贈られました。

なお、表彰されたかたがたは次のとおりです。（敬称略）

商工業関係者

◇商業＝木崎利子（富士ギツチン）　小泉政治（八小堂書店）　谷川美笑子（富士屋）　杉田チヨ（桝金）　鎌田美智子（鈴広商事）　土谷喜八郎（八百正商店）　小島国美（本多青果店）　鈴木茂（釜屋商店）　◇工業＝大木角蔵（小西六写真工業）　浅倉新吉（小田原紙器）　山下繁雄（高田製綿所）　石坂芳子（かねか）　米谷七郎（正栄堂菓子舗）　青木久之助（松）蒲鉾店）　後藤潔（渡辺キヤビネツト工業）　◇建設業＝浦井秀吉（護原建設）　◇金融業＝平井彦太郎（富士火災海上保険）　◇交通業＝森住菊男（伊豆箱根鉄道）

農林水産業関係者

◇農業＝石井政之（曽我大沢）　穂坂八郎（曽我別所）　星崎金三郎（下新田）　小泉治平（飯泉）　平塚昌蔵（小台）　下田高夫（久野）　和田舜三（網一色）　和泉喜久男（国府津）　青木房五郎（早川）　山室勘十郎（江之浦）　鈴木信吉（米神）　◇水産業＝湯川治三郎（山王原）　本多伊三郎（南町）　稲谷米吉（本町）　日下部栄吉（早川）　松本清造（米神）

永年勤続教職員の表彰

さる十一月十八日、市教育委員会会議室で永年勤続教職員の表彰式が行なわれました。

今回、表彰されたかたは、本市の小・中学校で勤続二十年になる松島俊治先生（市立城南中学校教頭）ほか十九名と同じく勤続十年の日吉房吉先生（新玉小学校教頭）ほか二十六名のかたがたです。

当日は、四十六名の永年勤続教職員のほか市教育委員会から教育委員会委員長をはじめ各委員、教育長、総務課長らが出席し、永年にわたり本市の教育のために尽くされた先生がたのご労苦に対し、感謝の意を表して、委員長から表彰状と記念品がそれぞれ贈られました。

優良青少年など表彰

十一月三日文化の日に

さる十一月三日文化の日に小田原市青少年問題協議会主催による優良青少年等の表彰式が市民会館で行なわれました。

当日は、小田原警察署長をはじめ、市青少年問題協議会委員、保護司のほか青少年指導者など関係者二百名出席のもとで、優良青少年二十八名、優良青少年団体十一団体、青少年保護育成功労者三名に、会長の市長からそれぞれ表彰状と記念品が贈られました。

被表彰者・団体は次のとおりです。

優良青少年

◎少年
天野美津子（鴨宮）　安藤富子（浜町）　石黒多鶴（南町）　石黒要（浜町）　押田三津枝（入生田）　大場得信（千代）　小野和美（酒匂）　清津まゆみ（幸）　小林好美（栄町）　佐久間良三（谷津）　下田保（曽比）　関島くみこ（浜町）　関野有利子（浜町）　高田純司（久野）　多田真理子（中曽根）　原光良（石橋）　正木ミオノ（谷津）　松本正美（鴨宮）　山下俊明（町田）　山室和喜子（江之浦）　米山美津恵（成田）

◎青年
加藤芳子（上曽我）　佐藤安弘（町田）　鈴木豊子（田島）　杉山峻一（栄町）　堀内貞治（南町）　松本勝市（入生田）　山田国夫（曽我谷津）

優良青少年団体

旭丘高等学校生物部　小田原建技会　小田原吹奏楽研究会　青い鳥子ども会（久野）　五区朗子ども会（鴨宮）　十二区子ども会（浜町）　高田子ども会（高田）　二十六区子ども会（本町）　一二三子ども会（小八幡）　町田小鳩子ども会（町田）　四葉子ども会（浜町）

青少年保護育成功労者

五十嵐登（本町）、石橋武夫（成田）、鈴木アイ（成田）

本町チームが連勝

―子ども会女子ドッジボール大会―

市子ども会協議会主催による小田原市子ども会女子ドッジボール大会は、本年で第九回を迎え、前回優勝の本町チームをはじめ十六チームが参加して十一月六日酒匂小学校校庭で開かれました。

晴天のもと、各チームが熱戦をくりひろげた結果、本町チームが前回に続いて優勝し、市長杯を獲得しました。

なお、おもな成績は次のとおりです。

優勝　本町学区連合子ども会
準優勝　下府中学区連合子ども会
三位　山王学区連合子ども会
町田学区連合子ども会

国民年金に必ず加入しましょう。

国民年金に加入しなければならない方は、満二十歳以上六十歳未満までの方です。

（ただし、厚生年金や各種の公的年金に加入されている方は除きます。）

加入手続や国民年金のことでわからないことがありましたら、市役所保険年金課か支所へお問い合わせください。

会場は参観者でいっぱい

第八回さかなまつり

さる十一月五日、六日の両日にわたり、市と小田原魚商組合連合会、小田原魚市場の主催による第八回さかなまつりが市民会館で開かれました。

このさかなまつりは、本市の漁業の発展をはかるとともに、市民のみなさまに魚介類の知識を深めていただき、合わせて食生活の向上に役立てるために毎年開かれているもので、近在でもめずらしい催しのひとつになっています。

会場の一階ロビーには、まぐろ、ぶり、そのほか多種多様の魚介類が約三百五十種もならべられたほか、ことし初めての試みとして、めずらしい電気うなぎの放電実演が行なわれ、子どもたちの人気を集めていました。また、本館と大ホールの間のピロテーでは、氷塊の彫刻実演、大きな氷が、ささく気持よい音をたててけずられ、見るまに、魚やたつの落し子に形づくられていく様子に、黒山のように集まった人たちは魅了されていました。

このほか、二階では、料理コンクール作品、水産加工品、漁具などの展示、三階で映画会、魚たくの作り方の指導などが行なわれ、それぞれたくさんの参観者の目を楽しませていました。

なお、さかなまつり行事のひとつとして催されました料理コンクールのおもな入賞者は次のとおりです。

特選

◎糸切りあじのチーズ揚げ＝初瀬川フジ（栄町）　◎揚げ魚ミカンあんかけ＝二見はま（酒匂）

優秀賞

◎かます御飯＝椎野芳子（国府津）　◎さんまの野菜巻き＝三浦セツ子（鴨宮）　◎カキの衣いため＝諸星ふじ子（浜町）　◎いかの一口コロッケ＝田辺節子（早川）　◎鯨肉だんごのカレー煮込み＝野地マサ江（田島）

会場には大小いろいろなさかながいっぱい

身体障害者に運動用具

中山さん（井細田）が寄付

市内井細田一四〇、マツサージ業、中山好雄さんから市福祉事務所に、市内の身体障害者の体育向上に役立ててくださいと、スポーツ用具十四種類、十九点の寄付がありました。

毎年夏、県の主催で県下各市郡の身体障害者が藤沢市県営グランドに集まって、体育大会が開かれますが、練習不足などのため総合成績で小田原市は、毎年四位か五位になっています。

そこで、用具が備えつけてあれば、障害者のかたはいつでも練習ができ、ご本人のからだの機能回復にもなり、また、体育大会に備えることにもなる、とご寄付されたものです。

なお、中山さんは、本年九月にも、市内の視覚障害者のために点字器を十台寄付されました。

写真は中山さん夫妻

即売会に人気

農畜産展終わる

十一月二十二日から二十四日までの三日間、農業振興の一環として、恒例の農業畜産展が水の公園をはじめ市体育館・星崎記念館前広場で盛大に開催されました。

水の公園では乳牛・豚・やぎなどの畜産共進会と農機具展示会がまた星崎記念館前広場では自動車展示会、市体育館では農産物の品評会と即売会がそれぞれ行なわれましたが、各会場とも農家のかたや一般市民の参観で大変にぎわいました。特に二十三日にふたあけした農産物の即売会は祭日のため子供連れの主婦が多く見受けられ市価より二、三割も安いとあつて野菜やくだものが飛ぶように売れました。

なお、農産物品評会および畜産共進会の出品点数は合わせて六百七十三点でおもな入賞者は次のとおりです。

◇果実類　普通みかん　優等＝広石栄（片浦）　わせみかん　優等＝下田良雄（久野）　◇穀類及び豆類　米　優等＝金子真澄（上府中）　◇根菜類　かぶ　優等＝神田久美子（今井）　にんじん　優等＝林雅美（町田）　◇葉菜類　ほうれん草　優等＝長谷川光治（久野）　◇鶏卵　優等＝秋山勝重（大窪）　◇加工品類　梅干　優等＝相原利介（下曽我）　◇花き類　カーネーション　優等＝石井正七（花き組合）　◇乳牛経産　優等＝早野義雄（橘町）　◇乳牛未経産　優等＝岡部栄（稲山）　◇種豚　優等＝守屋勝房（荻窪）　肉豚　優等＝本多三郎（荻窪）　◇やぎ　優等＝杉崎卯太郎（鬼柳）　◇鶏　優等＝石井林三（今井）

農畜産展即売会場（市体館で）

市内八会場で交通教室

母親クラブが中心に開く

さる十一月十一日から八日間にわたり、市内小八幡の国鉄官舎集会所を皮切りに交通教室が開設されておりましたが二十八日谷津公民館を最後に終了しました。

この交通教室は、最近激増しつつある交通事故を最少限度にくいとめるため、市が小田原警察署の協力を得て、事故発生率の高い国道一号線及び県道松田国府津線沿いの母親クラブに呼びかけた結果酒匂、下曽我、中河原、ひばり（板橋）、十字及び谷津の各母親クラブが中心になり、市内の八会場で開設されたものです。

各会場とも四十名から五十名ぐらいのおかあさんがたが集まり、講師の小田原警察署交通第一係長、中野巡査部長等から交通事故の発生状況や歩行者として守るべき交通規則、自転車の乗り方、事故に伴う示談の進め方などの話をきいたり、またスライドを見たりしたのち、講師をかこみ、ガードレール等施設の改善、横断歩道の渡り方、信号機の点滅時間の問題などを中心に活発な質疑や意見が出ました。

暴力、緊急事件は一一〇番へ

小田原警察署

どんな小さな善意でも

善意銀行登録者

登録番号8号

1	名称	仲よし会
2	代表者	清水香有
3	グループの性格	日本舞踊を楽しむ人の集り
4	提供内容	日本舞踊
5	継続性	月1回（ただし4、5、9、10月を除く）

盲人安全づえなど寄付

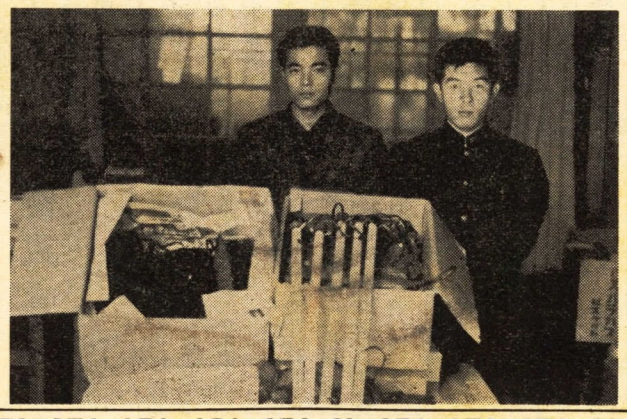
公孫樹（いちよう）の会から

小田原市の大学連合サークル、公孫樹（いちよう）の会（幹事長早大第一法学部、石田寿頭さん）から市福祉事務所に、折たたみ式ライト付き盲人安全づえ百本、及び点字器十三台の寄託がありました。

同会は、過日チャリティショウを催しましたが、その時の益金の大部分を視覚障害のかたの福祉のために役立てることに決め、今回寄託されたものです。

本市の視覚障害者で、身体障害者手帳を持っている人は二百三十七人ですが、福祉課ではライト付き安全づえの必要度の大きい人を選んで、近いうちにお配りする準備をすすめております。

なお、点字器は、福祉課から、小田原点訳奉仕会（堀内貞治会長会員五十人）に貸し付けることにしました。



【写真は公孫樹の会会員】

志村さんに知事賞

第16回小田原菊花展

恒例の小田原菊花展は、市民文化祭の一かんとして、さる十一月三日から十五日まで天守閣広場で開催され、訪れた観光客の目をたのしませてくれました。

ことしも愛好者の丹精をこめたみごとな作品二百八十四点が出品され、県園芸試験場技師小沢博氏並びに菊花造りの権威飯田友吉氏により審査が行なわれた結果、次のかたが上位に入賞しました。

競技花の部

優秀賞（県知事賞）＝志村武（中里）　優等首席（市長賞）＝高橋功（酒匂）　優等二席（県観光協会長賞）＝小関正一（南町）　優等三席（県園芸協会長賞）＝杉本国広（南町）　一等一席＝柏木倉蔵（荻窪）　一等二席＝椎野七郎（小八幡）　一等三席＝入野三彦（中里）　一等四席＝川久保信雄（国府津）　一等五席＝山中昇（小八幡）　一等六席＝佐藤威義（小八幡）

盆養の部

優等首席（市長賞）＝高橋功（酒匂）　優等二席（教育委員会委員長賞）＝山中昇（小八幡）　優等三席（商工会議所会頭賞）＝志村武（中里）　一等一席＝和田光夫（酒匂）　一等二席＝入野三彦（中里）　一等三席＝志村武（中里）　一等四席＝田中賢次（荻窪）　一等五席＝椎野七郎（小八幡）

管物の部

優等首席（市長賞）＝早川国之（南町）　優等二席（清香会長賞）＝小関正一（南町）　優等三席＝和田光夫（酒匂）　一等一席＝高橋功（酒匂）　一等二席＝石田貞（酒匂）　一等三席＝高橋功（酒匂）　一等四席＝早川国之（南町）　一等五席＝志村四郎（高田）

盆栽の部

優等首席（市長賞）＝杉本国広（南町）　優等二席（市議会議長賞）＝湯川作蔵（久野）　一等一席＝杉本国広（南町）　一等二席＝小関正一（南町）　一等三席＝柏木倉蔵（荻窪）　一等四席＝和地四郎（箱根町）　一等五席＝小関正一（南町）

懸崖の部

優等首席（市長賞）＝配島九美雄（曽比）　一等一席＝配島九美雄（曽比）　一等二席＝浜田万四郎（酒匂）

12月の市民会館

《大ホール》

△1日　神奈川県農業労務受入協議会"援農者表彰式並びに感謝の集い"（12時～17時）無料　△2日　小田原青年会議所"第1回青少年のためのレコード・コンサート"（18時～21時）無料　△3日　北野二郎日本舞踊"扇会"（11時～17時）無料　△6日　小金義照事務所"帰朝報告会並びに講演会"（13時30分～21時）無料　△8日　統一劇場小田原公演（18時30分～21時）無料　△9日　小田原税務署昭和四十一年分"源泉所得税年末調整説明会"（13時30分～17時）無料　△10日～11日　小田原北ロータリークラブ、国際ロータリー加盟承認「認承状伝達式」（10日13時～21時・11日9時～16時）　△13日　労音B例会"伊東ゆかりショー"（18時15分～20時30分）会員券　△14日　労音A例会"ダーク・ダックスショー"（18時15分～20時30分）会員券　△15日　公明党時局講演会（19時～21時）　△16日　労音寄席（18時15分～20時30分）会員券　△17日　小田原吹奏楽研究会及び小田原混声合唱団クリスマス・チャリティー・コンサート、（18時30分～21時）三百円　△18日　シグナス合唱団第6回C・S・Y・コンサート、（13時30分～16時）百円　△21日　フォークソング・フェスティバル、（18時～21時）二百円　△24日　日本児童演劇センター人形劇"三匹の子ぶた"（1回10時30分～12時・2回13時30分～15時）三百円

《小ホール》

△1日　神奈川新聞"神奈川おかあさん教室"（13時～16時）無料　△2日　第1経理納税貯蓄組合総会、（13時～17時）　△3日　神奈川ピアノ"ピアノ発表会"（13時～17時）　△5日～8日　伊東屋百貨店"洋・呉服・家具・電化製品展示会"（9時～20時）　△11日　大沢満ピアノ発表会、（13時～17時）　△13日　ニツカクラブ美容研究会、（10時～16時）　△14日～16日　志沢デパート毛皮製品展示即売会、（9時～19時）　△17日　小田原ドレス・メーカー女学院「生徒作品発表会」（展示即売会、（9時～17時）　△24日　田中道子ピアノ発表会（13時～17時）

《展示室》

△1日～5日　かどや家具敷物類の展示即売会、（9時～20時）　△6日～8日　かねか綿寝具展示即売会、（9時～19時）　△9日～11日　かがみ京呉服展示即売会、（10時～18時）　△13日～15日　東邦スポーツ用品展示即売会（9時～19時）　△16日～18日　陶器類展示即売会、（9時～18時）　△21日～23日　大山物産真珠展示即売会、（9時～17時）

園芸作物には
コンポスト
価格　1トン
1級品　1,800円
（市外は2,000円）
2級品　1,500円
1袋（20kg入）
100円
販売受付
市役所清掃課
（電話(22)1111番）

"水道メーターの上に物を置いたり、工作物を設けたりしないでください。"
検針ができないときは、推定料金をいただくことになりますし、また、お宅の費用で検針や修理ができる場所に水道メーターを移設していただくことにもなりますので、ご注意ください。
小田原市水道部

式には気軽な服装で
一月十五日は成人の日

一月十五日の「成人の日」には市内各地区で、満二十歳のかたがたを祝福するため、自治会、公民館、その他の団体が中心となつて盛大に成人式が行なわれます。

この日に市では、成人になられたかたがたに記念品をお贈りし、その将来をお祝いすると同時に、式を開催する地区には経費の一部を補助することになりました。

この成人式に出席できるかたがたには、各地区の開催団体から通知が届けられますが、この成人該当者は、①昭和二十一年一月十六日から昭和二十二年一月十五日までに生まれた人、②昭和四十一年十月十五日以前から本市に居住している人、③日本人、以上の三つの要件を備えている人となつており、学生などで一時市外に下宿しているような場合は、①③にあてはまれば含まれます。

このため市では、住民登録台帳によつて名簿をつくり、ただ今自治会長さんに名簿の確認をしていただいておりますので該当される方は念のため自治会長さんにお申し出ください。

該当されるかたがたは、地区の成人式に全員出席してください。

なお、式には華美な服装でなく、気軽な服装でおいでください。

紅葉をたずねて
市民ハイキング

快晴にめぐまれた十月三十日、地蔵堂―聖天堂―金時山―仙石原のコースで市民ハイキングが行なわれました。

若い人たちをはじめ、家族連れやお年寄りなど参加した百人の人たちは、美しく紅葉した山々、すすきの穂ゆらぐ高原など秋の色が深まるなかで、一日楽しくすごしました。

身体障害児に善意のお金
日大の学生さんが

十一月十四日、日本大学神奈川県人会小田原人会（代表者、日本大学経済学部二年、市内成田一三四、数馬勝さん）から、市福祉事務所に、身体障害児の福祉に役立つことに使つてくださいと、金六万五千四百三円の寄託がありました。

この会は、小田原市を中心にして、二宮町以西、湯河原町以東に在住の日本大学在学生百人が組織しているものですが、映画やテレビでおなじみの、伴淳三郎さんたちが行なつている、身体障害児を援助する「あゆみの会」の趣旨に賛同し、四十人の会員が、さる十一月十一日から十三日の間、交替で小田原駅前に立つて募金をされました。

その結果一般のかたがたから、このような思いのほか多い善意のお金が集まつたとのことです。

市福祉事務所では、し体不自由児の機能回復に役立てるため、訓練用具を購入して有効に使用し、あたたかいお気持をよせられたかたがたにおむくいしたいと考えています。

恵まれない子どもへ
とく名の婦人が寄付

さる十一月二日福祉事務所内の小田原市社会福祉協議会へ、赤ちゃんをおぶつた三十歳ぐらいのご婦人が訪れ、大きなまねきねこの貯金箱に金一封を添えて、「恵まれないこどもさんに差し上げてください」とご寄付の申し出がありました。

福祉事務所の職員がおききしたところによると、このご婦人には七歳になる女の子がおり、ことしお祝いをすることになつたが、他の恵まれないこどもさんのために、女の子が生まれたときからおこづかいやお年玉などをねこの貯金箱にためてきたのを、この際役立てていただきたいとのことで、ご婦人のお名前も住所もいつさい明らかにせずお帰りになりました。

このご好意に感謝しながら市の職員が立会いの上で貯金箱を開いたところ、硬貨等をまじえて一万七千六十二円と、別に一万円添えてありましたので、寄付金の合計は、二万七千六十二円となりました。

市会福祉協議会では、歳末たすけあいに当たつてこのご寄付を有効に役立てることとなりました。

市民文化祭の入賞者

十月十三日のきつつき版画展を皮切りに開かれていた第十三回市民文化祭は、小田原宣伝美術展を最後に十一月二十八日に幕を閉じましたが、これらのうち、短歌大会、俳句大会、高校美術展、西相美術展、写真展、宣伝美術展のおもな入賞者は次のとおりです。

短歌大会

市長賞＝杉本とし子（緑）　教育委員長賞＝熊沢義太郎（秦野市）　短歌会長賞＝杉山長風（中里）

俳句大会

市長賞＝長田麿生（酒匂）　教育委員長賞＝岡田珠絵（横浜市）　市議会議長賞＝相原珠泉（山北町）　秀作賞＝津田紫朗（山北町）　村山河川（静岡市）　協会長賞＝植田幸子（板橋）

高校美術展

市長賞＝深瀬春雄（城東）　教育委員長賞＝土方明果（小田原）　西相美術協会賞＝伊藤みきえ（城北）　連盟賞＝伊藤悦江（城内）　柏木隆一（相洋）

西相美術展

西相美術協会賞＝市川紀征（鴨宮）　市長賞＝志村光正（多古）　市議会議長賞＝赤岩久子（酒匂）　教育委員長賞＝三部御水（山王原）　佐々木直也（南足柄町）　府川貢（狭窪）

写真展

市長賞＝内藤和男（本町）　教育委員長賞＝加藤朗（南足柄町）　写真連盟賞＝岩田佐則（栄町）　小野利光（南足柄町）　鈴木義雄（浜町）

宣伝美術展

市長賞＝阿部美津子（池上）　小田原宣伝美術協会賞＝山本実（平塚市）　教育委員長賞＝大森美恵子（平塚市）　商工会議所会頭賞＝斉藤ヒロオ（平塚市）　商店街連盟賞＝大木純子（藤沢市）

心身傷害者などに八十万円
小田原ライオンズクラブ　認承式五周年を記念して

小田原ライオンズクラブでは「心身障害者に愛の手を」というスローガンを掲げて、かねてから各種の社会奉仕事業を行なつておりますが、十一月八日、同クラブのチャーターナイト（認承伝達式）五周年式典が市民会館小ホールで挙行された当日、これを記念して特殊学級、身体障害者関係等に、総額八十万四千五百円にのぼる贈り物の発表がありました。そして席上、杉山同クラブ会長からそれぞれの関係代表者に目録が手渡されました。

その内訳は次のとおりです。

▽交通安全関係（総額二十万円）（小田原地方交通安全協会へ）
黄色の横断用旗　三千本
ガードレール　三十㍍

▽防犯関係（総額十五万円）
（小田原市へ）
防犯灯　十基

▽視覚障害者関係（総額十万五千五百円）
（小田原市視覚障害者福祉会へ）
点字タイプライター一台
テープレコーダー　一台

▽し体障害者関係（総額十万円）
（小田原市傷痍軍人会へ）
車いす（三段ギヤー）十個

▽特殊学級関係（総額二十四万九千円）
（城山中学校へ）
スライド映写機　一台
電映デーライトスクリーン一枚
（白鷗中学校へ）
半円型テーブル　三個
（白山中学校へ）
テレビ　一台
（鴨宮中学校へ）
オルガン（電動）一台
（国府津小学校へ）
整理だな　二個
（足柄小学校へ）
個人名戸だな　一個
ピクチュアボード三個
（城内小学校へ）
紙芝居スクリーン一枚
テープレコーダー一台

演芸に楽しいひとときを
身体障害者慰安激励大会で

小田原市には、手足や目、耳等に障害があるため、身体障害者手帳をもつている人が一千四十二人いますが、市では毎年秋にこの人たちをお招きして、これからもますます元気にお暮しください、と激励し、また、慰安演芸を行なつて半日を楽しく過していただいています。

ことしは、さる十一月六日の日曜日に、城内小学校講堂で、この大会を催しました。

当日は、秋晴れの好天気で、約三百人の障害者のかたがおいでになりましたが、市長や来賓から激励のことばがあつた後、にぎやかな演芸に楽しいひとときを過しました。

なお、当日会場入口を通りかかつた市内本町三丁目十一番二十二号望月三智さん（50歳）から身体障害者の皆さんの役に立ててくださいと、金三千円の寄託がありましたので、市福祉事務所では、小田原市し体障害者福祉会、同視覚障害者福祉会、同聴覚言語障害者福祉会にそれぞれ配分してお渡ししました。

慰安激励大会（城内小講堂で）

来年入学する児童をお持ちのかたへお知らせ

来年の四月に小学校に入学する児童は、昭和三十五年四月二日から昭和三十六年四月一日までに生まれた児童です。

市の教育委員会では、学校やPTAを通じ、九月一日現在で、これらの児童をお持ちのご家庭の調査をいたしました。

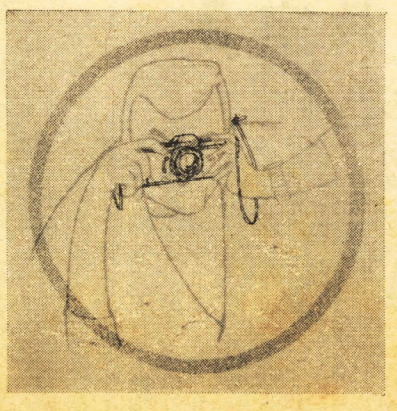
この調査に基づき、該当の家庭には入学告知書を一月中旬ごろまでにお届けいたしますので、これに指定された小学校にお子さんを入学させてください。

また、九月一日以降小田原市に転入された場合は、印鑑と本市市役所または支所で発行される住民票、連絡票を、転出される場合は入学告知書と転出証明書（入学告知書がまだ届いていない場合は、転出証明書だけ）を市教育委員会総務課へご持参ください。

市立以外の小学校または養護学校へ入学の児童、あるいは病気などで就学を猶予、免除される児童その他特殊事情のある児童をお持ちのかたは、一月末日までに市教育委員会総務課においでください。

第6回広報写真コンクール

写真をとおしてみなさんに市政をよく知つていただくため、広報写真コンクールを実施します。
市が行なつている事業、施設、市民の参加した行事、発展する本市産業のもようなどを自慢の腕でカメラにおさめ、応募してください。



◎題材
市政に関する明るい建設的なもの

◎サイズ
黒白カビネ

◎作品
①昭和41年4月以降撮影したもので未発表のもの
②応募点数に制限はありません
③入賞作品の版権は主催者に属します
④入賞作品以外はお返しします

◎応募資格
市内に在住、在学、在勤する人

◎締め切り日
昭和42年1月31日

◎賞
推せん1名　特選2名　入選6名（以上の方に賞状及び賞品を贈呈）、佳作10名（記念品）

◎審査員
主催者が委嘱する審査員

◎送り先
小田原市役所
市民課市民広報係

◎入賞発表
昭和42年3月　広報紙上

◎主催
小田原市

兄弟の少ない現代っ子

市教育研究所の調査　三人以下が八割も

市の教育研究所では、最近特にふえていると思われるひとりっ子の実態をあきらかにして、その指導をどのようにしたらよいかについて研究を進めています。

このたび研究の基礎資料として市内小・中学校に在学する全児童、生徒を対象として、そのきょうだい数を調査しました。

きょうだい数の平均は小学校で二・六一人、中学校で三・五三人、小・中学校の平均で二・七九人になります。

下のグラフからもわかるように、ひとりっ子は七・三%、二人きょうだいは三十九・〇%で、この両者を合計すると四十六・三%になります。つまり、全児童生徒の約半数はきょうだい数が二人以下ということになるわけです。さらに、三人きょうだいの者をこれに加えますと、七十八・九%に達し、全体の約八割は、きょうだい数が三人以下という結果になります。

このようにきょうだい数が減つてきているということは、家庭においてきょうだいとの生活を持ち得ない子どもがふえてきていることを意味しています。

とくに、ひとりっ子は小学校で千三十五人（八・二%）、中学校で三百七十九人（五・三%）、計千四百十四人にも達しています。

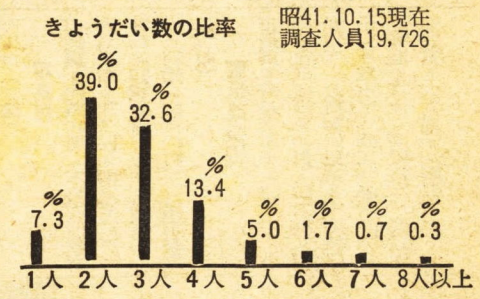
これを学区別にみてみますと、小学校でひとりっ子の多いのは本町、城内、町田でいずれも十%をこえています。少ないのは久野（二・八%）、片浦（四・五%）をはじめ、曽我、下曽我、千代（以上五%台）などの周辺農業地域です。

次に中学校では城山（七・四%）がトップをしめ、片浦（二・五%）が最も低い率となつています。

おおむね、ひとりっ子は市の中心部に多く、周辺地区に少ないという傾向がみられるようです。

このように、きょうだいがないという特殊な家庭環境のなかで成長している子ども……ひとりっ子……はともすると性格的に片寄りがちになるので教育の立場からみて、当然指導上いろいろな配慮がなされなければならないと考えられます。

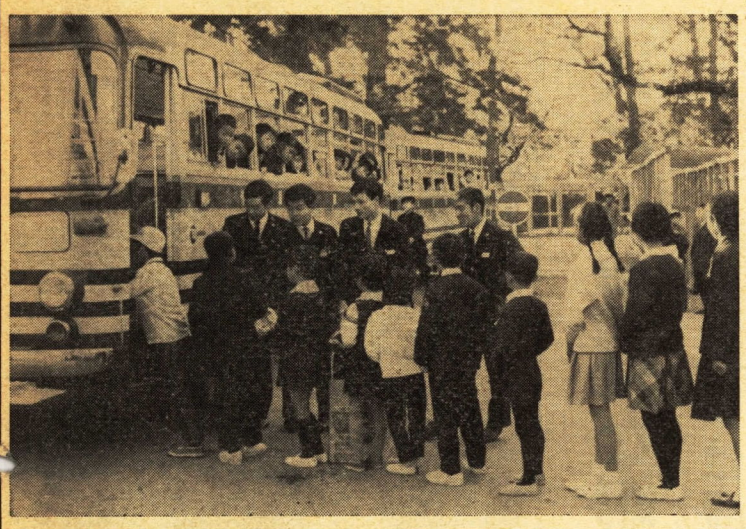
これらの点について教育研究所では、さらにくわしい実態にもとづいた指導のあり方を研究中です。



保護家庭の子らが

箱根一周のバス旅行

若い車掌さん四人の招待で



【写真はバスに乗り込む子どもたち】

さる十一月二十日の日曜日、市内の恵まれない保護家庭の子どもたち六十一人が、若い車掌さんに箱根路一周のバス旅行に招待されて楽しい一日を過ごしました。

招待した若い車掌さんは、伊豆箱根鉄道株式会社久野営業所に勤務する永井清雄さん（21歳）、古宇田賢三さん（20歳）、関好和さん（20歳）、合川功さん（20歳）の四人です。

永井さんらは、社会の人がよろこんでくれるようなことをしたいと二年前からこづかいを倹約してためていたお金が八万円になつたので、相談の結果、このお金で恵まれない家庭の子どもたちをバス旅行に招待することになり、市の福祉事務所にこの計画を申し出たものです。

この話を聞いた会社側でも感心し、バス二台を実費で提供するなど、四人の善行を側面から援助されました。

当日、家族に見送られて市役所前を出発した子どもたちは、秋晴れのもと紅葉の箱根路を駒ケ岳―箱根園―ユネスコ村―元箱根―十国峠と一周し、帰りは熱海に出てから景色のよい海岸線を通つて午後六時ごろ小田原に帰つてきました。

秋の一日を楽しいバス旅行

体不自由児らが

小田原市肢（し）体不自由児父母の会（会長平本善太郎さん、会員四十三人）では、十一月十三日の日曜日に、し体不自由児二十人を連れて、バスで伊豆の富士見ランドに行きました。この旅行は、からだが不自由なため、ふだんあまり外に出られないこどもたちを最近できた富士見ランドで、一日ゆつくり遊ばせてやりたいと、会の役員さんが実施したものです。

こどもたちは午前十時から午後三時まで、館内のいろいろな遊器具で遊んだり、熱帯植物や大きな人工の滝、噴水などを見物したりして、楽しい時間を過ごしました。

帰りにはあいにく雨が降り出し、景色はよく見られませんでしたが、車中ではみんなが元気に歌つたり、なぞなぞなどをして楽しい思い出になりました。

無事故で楽しい冬休み

～児童、生徒の生活指導～

十二月二十五日から一月七日まで市内の小・中学校は、いつせいに冬休みになります。

この休みは、年末と年始という二つの性格をもつた休みです。

年末は、どこのご家庭でもたいへんいそがしいときで、年始は外出の機会が多いときです。したがつて家庭の指導も児童、生徒の気持ちもとかくゆるみがちになります。

そこで各家庭では、次のことに注意され、児童、生徒が問題を起こさないよう指導してください。

◇旅行や登山に行くときは、計画が安全であるかどうか確認しておくこと。

◇成人向き映画、遊技場などにはいらないようにさせ、推せん映画はみてもよいが、学校できめられた方法によつてみさせること。

◇アルバイトをする生徒については、事前にその目的、場所、期間などを学校に届けて、指導を受けたのち行なわせること、特に夜間作業、危険な作業および飲食店などのアルバイトはさせないようにすること。

◇期間中は、特に来客応待の機会が多いことが予想されますので礼儀作法に注意するよう指導してください。

◇火遊び、空気銃、路上ローラースケートをはじめ、本年度起つた海岸での砂遊びなど、思わぬ事故のもとになりますので危険な遊びはしないようじゅうぶんな注意と指導をしてください。

◇最近は、自動車など交通量が極度に多くなつてきておりますので、家庭でもじゅうぶん注意して事故が発生しないように協力してください。

◇その他、学習指導、生活指導、保健指導等について各学校で、児童会、生徒会で話し合つたことをもとにして、各学年にふさわしい「冬休みのしおり」を出されることと思います。各家庭では、これをよくお読みになつて児童、生徒の行動に関心をもち、一人も事故がなく楽しい冬休みがすごせるように協力してください。

富水小に大蔵大臣賞

優良子ども銀行

酒匂、曽我小は知事表彰

さる十一月二十二日、神奈川県庁本庁舎三階の大会議室で昭和四十一年度優良こども銀行の表彰式が行なわれました。

本市関係では、富水小学校子ども協同組合が、大蔵大臣・日本銀行総裁表彰、酒匂小学校こども銀行と曽我こども協同組合が県知事表彰をそれぞれ受けました。

この表彰は、貯蓄が協同の精神や責任感を身につけさせるなど、児童の教育に大きく役立つていることから、今後いつそう子ども銀行の健全な発展をはかるため、毎年、大蔵大臣と日本銀行総裁が中央表彰を、県知事が地方表彰を行なつているもので、今回、県下で表彰されたのは、中央表彰が四行、地方表彰が八行です。

中央表彰を受けた富水小学校子ども協同組合は、昭和二十五年に市農業協同組合富水支店を親銀行として発足し、親銀行と教職員の適切な指導のもとで順調に発展を続けており、過去に県知事表彰を二回受けています。全児童一千三百四十人が加入し、昭和四十一年三月現在の貯蓄総額は八百六十三万円となつています。

一方、地方表彰の酒匂小学校こども銀行は、昭和二十四年に駿河銀行国府津支店を親銀行として発足、全児童の九十四・九%が加入し、昭和四十一年七月二十日現在の貯蓄額は六百九十万円、また曽我こども協同組合は、市農業協同組合曽我支店を親銀行として昭和二十四年に発足し、全児童百八十名が加入、貯蓄総額は昭和四十一年七月二十日現在で二百十四万円となつています。

これらの三行は、いずれも子どもに銀行の運営組織が充実していること、貯蓄額の伸びが順調であること、貯蓄活動が児童の教育によく生かされていることなどが認められたものです。

生活保護家庭の児童にみかんの寄付

十一月二日、市福祉事務所にたくさんのわせみかんの寄託がありました。

寄託されたのは、市内早川四六、鈴木一喜さん、同五七、青木清さんの三人で、この三人のかたが、生活保護家庭のこどもさんにあげてくださいと、全部で二百五十キログラム（みかん箱十個分）を届けてくださつたものです。

福祉事務所では、さつそくこれを該当の家庭にくばり、たいへん喜ばれました。

なお、鈴木さんは昨年秋にも、ご自分のみかん畑を一日開放して生活保護家庭の児童五十人にみかん狩りをさせてくださいました。

図書館　児童文化館　ご案内

12月の自動車文庫

7日（水）国際通り青年部、東亜農薬、大稲荷神社、長野製作所
8日（木）健康学園、谷津市営住宅、柳屋ポマード、小田原紙器、久所市営住宅
10日（土）下府中婦人会全域
11日（日）網一色婦人会、久野商店街寮、笹田蚤生会
13日（火）荻窪農協、計量検定所、潮公民館、入生田駅前、国立箱根療養所
14日（水）千代小学校、小田原電報電話局、国府津分局、東洋水産、多古公民館、小田原ガス
15日（木）あしがり荘、小田原拘置所、大同毛織、鐘紡ハリス
16日（金）国府津小学校PTA、万年公民館、中島33区公民館、久野和留沢
17日（土）印刷局宿舎、小田原少年院、報徳網、板橋公民館、下板橋
18日（日）寺町公民館
21日（水）新宿公民館、酒匂分館、国府津分館、下曽我分館、曽我分館
22日（木）上府中分館、下府中分館、豊川分館、桜井分館、片浦分館
24日（土）小西六写真、小田原電報電話局、神尾食品、湯浅電池

12月の木曜コンサート

時間　12時20分～50分
会場　星崎記念館

1日　ムーピー・ラプソディーズ「エデンの東」他
8日　モーツアルト序曲集　歌劇「魔笛」序曲他
15日　ベートーヴェン作曲　交響曲第9番二短調作品125「合唱」
22日　パット・ブーン・ゴールデン・クリスマス　「ホワイト・クリスマス」他

▲クリスマス特別映画会
長編カラー漫画「わんぱく王子の大蛇退治」
日時　12月24日（土）午後1時30分

12月25日（日）午前10時と午後1時の2回上映
会場　児童文化館2階小劇場

▲クリスマス子ども大会
日時　12月25日（日）午後3時から
出演　劇団「わらべ」
出しもの　影絵「ねむの木のお話」　人形劇「たにし息子」　ボードビル「もしもしかめよ」他
会場　児童文化館2階小劇場

▲定期映画会
3日（土）かさじぞう　フランス寄生虫の話
4日（日）つり銭ものがたり　聖火を迎えて　アメリカの家庭生活（子どものしつけ）
10日（土）津波つ子　幼児のまねっこ　流氷の町
11日（日）君たちはどう生きるか　かぐやひめ　オリンピックハイライト
17日（土）江戸幕府と鎖国　神経のはたらき　続六人姉妹
18日（日）子どもとお金　空気バネ　バレーボール教室

赤倉で市民スキー教室

申し込みは12月5日から

市の教育委員会と小田原スキー協会では、明年一月二十日から二十四日まで四泊五日の日程により新潟県の赤倉で市民スキー教室を開設いたします。

赤倉は、温泉を中心に広がる国際的スキー場として有名であり、ゲレンデは妙高山から放射状に緩急自在なスロープが開け、初心者もベテランのかたも十分スキーを楽しめるものと思いますので、みなさんお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

スキー教室開設要領は次のとおりです。

◇日程　明年一月二十日午後七時市教育委員会前集合、同八時出発、一月二十四日午前五時小田原駅前帰着（四泊五日、うち車中二泊）

◇会場　赤倉スキー場

◇利用交通機関　往復ともバス

◇会費　おとな、こどもそれぞれひとり六千二百円（バス代・宿泊費）、ただし申し込みと同時に申し込み金三千円を前納していただきます。

◇定員　八十人、定員になり次第締め切ります。

◇申し込み期間　十二月五日から明年一月十日

◇申し込み先　①市教育委員会体育課（城内四～三十　電話㉒一一一・八四二三）②小田原スキー協会（栄町二～十三～六　電話㉒八四三四）③市内各スポーツ用具店

◇指導　日本スキー連盟公認の指導員により指導が行なわれます。

◇その他　①一月十三日までの取り消しについては申し込み金をお返ししますが、それ以後のものについてはお返ししません。②スキー用具は、市内のスポーツ用具店あるいは現地で借りられます。③申し込みなどくわしいことは、申し込み先へお問い合わせください。